

蕪山高校 Q & A 【令和 5 年度版（10 月 2 日更新）】

Q 1 : 蕪山高校の魅力、セールスポイントは何ですか？

A : 「自由闊達」「文武両道」の校風の下、部活動・生徒会・探究等の充実した活動と難関大学進学に対応した学習に、高い志を持つ仲間たちとともに取り組むことができます。

数多くある魅力のうち、特に強調したいのは次の 5 点です。

①「ひと」が素晴らしい

何事にもひたむきに取り組む生徒、指導力に優れた教職員は本校の誇りです。また、保護者や卒業生の皆様も協力的で、生徒や学校の活動を支えていただいています。

②上質な学習指導と進路指導

指導力に優れた教職員による授業は生徒の学力を着実に高めます。加えて、補講等の進路に特化した支援により難関大学等を目指す生徒の進路希望を実現させています。

③多彩な学校行事と教育活動

本校最大の学校行事「龍城祭」で高校生活の醍醐味を味わうことができます。修学旅行は、理数科や文系探究コースが海外を目的地とするなどバラエティに富んでいます。また希望者を対象にイギリスでの語学研修や学校でのオンライン英語学習など、英語力の強化に力を入れています。

④恵まれた環境と充実した支援体制

豊かな自然に囲まれ、思い切り活動に取り組むことができます。校内は空調設備、ICT環境が整い、学習に不便を感じません。県内公立高校屈指の志龍講堂には、メニューが豊富な食堂、静謐な自習室があり、生徒の学校生活を支えています。函南駅から学校内までスクールバスも運行しています。

⑤豊かな歴史と伝統

今年 2023 年（令和 5 年）、創立 150 周年を迎える県内で最も歴史のある学校です。幕末の動乱期に日本を外国から守るといふ高い志を持って奔走した江川坦庵公を学祖とし、蕪高生も坦庵公由来の校訓「忍」を誇りとして、高い志を持っています。

Q 2 : 蕪山高校に入学するとどのようなメリットがありますか？

A : 学力の向上、進路目標の達成、学習と部活動等との両立、たくましい心身の育成など枚挙にいとまがありません。探究活動や海外語学研修、海外修学旅行など本校独自の行事に参加することで豊かな想像力と柔軟な思考力を養うことができます。個性を認め合い、高い志を持つ仲間たちと過ごす高校生活により、一生の中でかけがえのない経験を得ることができます。

Q 3 : 学力を伸ばし、進路希望を実現するため、どのような支援体制がありますか？

A : 県内トップ校で指導に当たってきた経験豊かな教員を中心に、新しい大学入試に対応した授業と進路指導を行います。土曜日や放課後、夏休み等の長期休業日には希望者を対象に「講習」を開講しています。また、進路希望（大学で修める学問分野）の選択や進路希望に応じた指導等、生徒の進路実現に資するキャリア教育を併せて展開しています。志龍講堂 2 F の自習室や 1 F の生徒ホールを始め、校内のそこかしこに自習できるスペースがあり、土、日

曜日などの休日も開放しています。高い志を持つ仲間たちと励ましあいながら学習に取り組む校内の雰囲気が、進路実現を力強く後押ししてくれます。

Q 4 : 文武両道を校風としていますが、部活動と学習の両立ができるような配慮はありますか？

A : 本校では、進学校としてあるべき部活動を行っています。完全下校時間を 19 時 30 分とし、週 1 日・年間 100 日以上の完全休養日を確保するなどのルールを定め、学習時間の確保を保証しています。

Q 5 : 学習面以外で学校生活を充実させる行事等がありますか？

A : 3 日間行う「**龍城祭**」は、企画から準備、運営等まで 100% 生徒の手によって作り上げられる行事です。1 年生の「**高原教室**」も同じように生徒の手によって行います。2 年生の「**修学旅行**」は、理数科がアメリカ (NASA 等)、普通科文系探究コースは東南アジア (シンガポール・マレーシア)、普通科は九州地方等を予定しています。また、各クラスで事前に練習に取り組む「**スポーツ大会**」も大変盛り上がります。

Q 6 : 入学者選抜ではどのような学校裁量枠を設定していますか？

A : 理数科、普通科とも「中学校における学習」を重視する観点とする裁量枠を設定しています。調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題がなく、学力検査の得点合計が一定水準に達している者を対象に、調査書の学習の記録における 9 教科の評定合計に優れた者を合格者とします。希望者を対象としており、中学校の学習成績が良好だった人は是非志願を検討してみてください。

Q 7 : 普通科が「中学校における学習」を観点とする学校裁量枠を行うことにしたのはなぜですか？

A : 今まで理数科で実施していることから普通科でも同様に、中学校でどの教科にもしっかりと取り組んだことを評価し、学力検査が上位の得点 (上位 75% 程度まで) でなくとも一定水準の得点があれば合格とすることで、学力検査に対する志願者の不安感や負担感を少しでも軽減できると考え、導入することにしました。理数科ではなく普通科で学びたいと考えている志願者、文科系教科に興味、関心があり普通科で文科系を中心に学びたいと考えている志願者にも、理数科と同じ条件で志願できるようにしました。

Q 8 : 「中学校における学習」を観点とする学校裁量枠に志願するメリットは何ですか？

A : 中学校で全教科しっかりと取り組み 9 教科の評定合計が優れていても、共通枠の第 1 段階では学力検査の高得点順 (上位 75% 程度まで) で合格者を決めるため、学力検査に対して不安を感じている人は少なくないと思います。この学校裁量枠では 9 教科の評定合計が優れていれば「学力検査の得点合計が一定水準」以上で合格の可能性が高まることから、学力検査に対する志願者の不安感、負担感が軽減されることを期待しています。学力検査の得点合計の「一定水準」とは、全合格者のおよその合格ラインを想定しており、今までの入学者選抜の実績から、第 1 段階での合格ライン (上位 75% 程度まで) より全合格者の合格ラインの方が低いと考えています。

Q9 : 「中学校における学習」の学校裁量枠の導入は内申書を重視するからですか？

A : この学校裁量枠を導入することで、理数科と同様に普通科でもどの教科にもしっかりと取り組んだことを評価することになります。しかしだからといって内申書を重視し学力検査を軽視するわけではありません。学校裁量枠を普通科に導入することで、今まで以上に、評定合計が上位ではない人でも学力検査の結果によって合格する可能性が高まると考えています。今まで9教科の評定合計が上位の人の大半は共通枠第1段階で合格していましたが、「中学校における学習」を普通科に取り入れたことで、評定合計が上位の人は学校裁量枠で合格するため、共通枠第1段階の対象になる人の評定合計は今までより低くなると想定されます。従って当日の学力検査が好結果であれば、評定合計が上位ではなくても合格する可能性が昨年度より高くなる可能性があります。どんなに努力しても苦手とする教科、特に体育や音楽、美術などを苦手とし、高い評定にならない人がいることも確かです。そのような人は当日の学力検査で好結果になるようがんばってください。

Q10 : 「文化的・体育的活動」を重視する観点とする裁量枠を設定しないのはなぜですか？

A : 本校は、特定の競技や分野の部活動に入部することを条件とせず、誰でも公平に志願できるようにしています。また、本校が掲げる「文武両道」は、生徒一人一人が勉強と諸活動（部活動、生徒会活動、探究活動等）を両立することを目指しています。従って、特定の部活動を選抜において重視する観点とする学校裁量枠は設けていません。本校の部活動は、学校裁量枠を設けた学校に比較し遜色のない実績を上げています。部活動に積極的に取り組んだ生徒の多くが、進学においても難関大学合格を勝ち取っています。

※県外から志願を考えている方へ

本校では「文化的・体育的活動」等を重視する観点とする学校裁量枠を設けていないため、静岡県以外の都道府県から志願する場合、保護者との一家転住が必要になるなど志願資格が限られます。詳細については本校までお問い合わせください。

Q11 : 入学者選抜で中学校時の部活動については選抜の資料として評価しないのですか？

A : 共通枠の第2段階で、調査書の「特別活動（生徒会活動等）の記録」、「諸活動（部活動等）の記録」など学習の記録以外の記載事項や面接の結果を評価し、共通枠定員の10%程度を合格者としています。この段階において、中学校時の部活動の実績や活動の内容について積極的に評価しています。

Q12 : 入学後、どのくらいの費用がかかりますか？

A : 入学時には、県立高校共通の費用として、入学金¥5,650、授業料（年額）¥118,800があります。ただし、授業料については就学支援金の受給対象の方は納入不要です。また、諸会費、予納金等¥120,000程度（普通科）¥136,000程度（理数科）と修学旅行積立金（金額は目的地による。）があります（令和5年度）。その他教科書や物品代、制服等の購入費用が必要となります。詳細については、韮山高校ホームページの「事務室より」→「中学生の保護者様へ」に記載しています。

Q13： 蕪山高校ではどのような生徒の入学を期待していますか？

A： 本校では「アドミッション・ポリシー」として次の3点をあげ、このような生徒の入学を期待しています。

- ・ 生徒会活動、部活動、探究活動や難関大学進学に対応した学習に主体的に取り組む意欲を持つ、チャレンジ精神旺盛な生徒を求めます。
- ・ 「自由闊達」「文武両道」の校風の下、高校生活を充実させ、志の実現に向けて努力できる生徒を求めます。
- ・ 互いに個性を認め合い、他者と協働しながら切磋琢磨し、仲間と共に成長することを願う生徒を求めます。

Q14： 授業で分からないところなど個別に教えてもらえますか？

A： 授業の内容等の質問に対して丁寧に説明、解説しています。校内の随所に学習スペースがあり、放課後には毎日のように教員が個別に応じている姿が見られます。（Q3参照）

Q15： 塾や予備校に通わなくても大学受験は大丈夫ですか？

A： 授業を軸に、自学自習を含めた日頃の学習にしっかりと取り組めば、大学受験に通用する学力がつくように授業を計画しています。また、希望者を対象に土曜日や長期休業期間中に様々な講習を行い、大学受験対策となる発展的な学習を行っています。講習を希望者対象としているのは、部活動等の諸活動を優先したい生徒や塾や予備校に通いたい生徒の意思を尊重するためです。毎年、大勢の生徒が、塾や予備校の講義を受けず学校の学習だけで難関大学を含め大学への合格を勝ち取っています。（Q3参照）

Q16： 大学入試では推薦入試を受験できますか？

A： 大学入試の推薦入試には、指定校推薦入試と一般推薦入試の2種類があります。大学から本校を指定して入学枠を設ける指定校推薦入試については、毎年、早稲田大学や慶應義塾大学など難関大学から推薦を依頼されています（例年依頼がある大学でも学部、学科については年により異なる場合があります）。また、一般推薦入試についても大勢の生徒が出願し、合格しています。受験を希望する大学が第一志望であること（推薦入試で併願を認めている大学等を除きます。）など、本人の意思を尊重することを原則とし、担任の先生等と相談して推薦入試を受験するか決めています。

Q17： 文系探究コースは文系の特進クラスですか？

A： 文系探究コースは、いわゆる文系（歴史や文学、外国語、法律、政治、経済分野など）に関わる分野をテーマとして第2学年で探究活動を行うコースです。他の文系クラスでは行わない高度な探究活動を実施しています。また、1クラスであることから、希望者が多い場合は選抜することになり、年によっては入るのが難しくなります。そのため結果的に特進クラスのようになる場合があります。しかし本校では、文系探究コース以外の文系クラスや理系クラスでも他校から見れば特進クラス同様のハイレベルな授業等を行っており、文系探究コースと同じように多くの生徒が難関大学に合格しています。

Q18： 蕪山高校の勉強は厳しいですか？

A：社会的に評価の高い大学に進学するためには、どの高校に在学しても相応の授業以外の学習時間が必要です。また、高校の学習内容は、中学校の学習内容に比べ高度で専門的となり、それを着実に身に付けていることが大学では求められます。以上のことから、大学進学を目指す高校での学習は中学校の学習に比較して難しくなりますが、同じ目的を持つ仲間とともに励ましあい「みんなでがんばる」環境が蕪山高校にはあります。

Q19： 体育の授業は厳しいですか？

A：かつて授業を65分で行っていた時期があり、その頃は実際に体を動かす時間が長く、体力的に大変で厳しいと思われたかもしれません。しかし現在、授業時間は50分で、取り立てて体育の授業がきつい、厳しいとの話はないようです。確かに苦手な人にとって大変なところはあるでしょう。しかし、本校だからといって他の学校と特別異なるところはありません。学年が上がるにつれ、むしろ体育が楽しい、待ち遠しいという生徒が増えているようです。

Q20：「グローバル・ハイスクール」に指定されたそうですが、具体的に何を行うのですか？

A：今年度本校は静岡県教育委員会による「グローバル・ハイスクール」に指定されました。これは既存のグローバル教育をさらに発展させた様々な取組が評価されたからです。既存の取組としては、「海外修学旅行（理数科、文系探究コース）」、「イギリス研修」（10日間の語学研修）、「グローバル・スタディーズ・プログラム」（多国籍の留学生等とのワークショップ）、「サイエンスダイアログ」（外国人研究者による講話）などがあります。これらに加えて昨年度から「オンライン英会話」（大学の外国人教員との英会話レッスン）を開始し、さらに今年度は、理数科が修学旅行で訪問するアメリカ・ロサンゼルスの高校との交流（オンライン交流等）を充実させていきます。語学力のみならず、様々な文化的背景を持つ人々と交流することで国際感覚を養い、国際的に通用する資質、能力の向上を図ります。

Q21： 順天堂大学医学部や附属病院と高大連携協定を結んだと聞きましたが、目的は何ですか？

A：順天堂大学は医学部附属病院が伊豆の国市に、保健看護学部が三島市にある身近な大学です。また、医学部附属静岡病院には本校の卒業生が何人も勤務しており、従来から医療系セミナー等において個別に学校で講話をしていただいた実績もあります。地域にある高度な教育資源として、医師や医療系への進路を希望する本校の生徒が活用することにより、生徒自身の希望が実現するとともに、医師不足と言われる静岡県、特に東部地区の医師確保に寄与するという目的があります。

Q22： 順天堂大学との連携により生徒にはどのようなメリットがありますか？

A：通常入ることができない病院や大学医学部の施設、設備を見学し、体験することができます（ドクターヘリや手術室、手術ロボットの見学、手術シミュレーションの体験等）。医師や大学医学部の先生からのお話しや医学生との懇談を通じて、医師や医療系への関心、意欲が高まり、進路実現に向けての後押しになると考えています。

Q23：私立大学の医学部は学費が高いと聞いています。学費について補助制度はありますか？

A：静岡県に附属病院を持つ順天堂大学医学部には、入学試験の中に「地域枠（静岡県地域枠選抜）」という制度があり、この制度を利用すると相当額の奨学金（6年間総額1,440万円）の援助があります。また、静岡県には医学修学研修資金（医学生向け奨学金）の制度があります。これらの制度を利用することで私立大学の医学部であっても経済的な負担が軽減されます。なお、両制度とも、一定期間、静岡県内の医療機関等に勤務するなどの条件を満たせば、返済が免除となり給付されることとなります（令和6年度入学試験における情報）。

Q24：医学部に進学するには理数科に入る必要がありますか？

A：普通科の理系からでも医学部に入学しており、医学部に進学するため理数科でなければならないということはありません。普通科理系、理数科ともに医学部受験に対応できる高度な内容の理数科目を学習します。特に理科、数学に力を入れ、生物を発展的に学んだり医療系の課題をテーマに探究的に学んだりしたいのであれば、理数科がよいかもしれません。

Q25：修学旅行はどこに行くのですか？

A：普通科は九州北部方面に行きます。長崎の平和公園や市内班別研修、佐賀の吉野ヶ里遺跡、福岡の太宰府天満宮等の見学が中心となります。
普通科探究コースはシンガポール・マレーシアに行きます。シンガポールでの大学生との交流やマレーシアでのプランテーション体験学習等を行い、異文化理解を深めます。
理数科はアメリカのロサンゼルス方面に行きます。NASAの見学やテクノポリッジの学生との交流により理数系の知見を深めるほか、ロサンゼルスのユニバーサルスタジオにも行きます。

Q26：通学方法の内訳はどうなっていますか？

A：主な通学方法（令和5年度）は、自転車24.0%、電車・バス66.9%、徒歩その他9.1%です。

Q27：スクールバスは誰でも利用できますか？

A：利用料金を払えば誰でも利用可能です。熱海や伊東以南など伊豆半島の東海岸ばかりでなく、三島、沼津方面からでも函南駅前からスクールバスに乗車することができます。現在の運行時刻については、本校ホームページのトップページ右側にある「スクールバス 運行時刻表はこちら」を開いて確認してください。

Q28：食堂があると聞いていますが、誰でも利用できますか？

A：本校の生徒であれば誰でも利用できます。食堂は人気があり、昼休みに利用する人でにぎわっています。座席数の関係から座ることができなかつたり、食券が売り切れてしまつたりすることはあります。メニューにもよりますが、弁当形式にして教室などに持ち帰ることもできます。

Q29 : 「自由な校風」と聞きますが、どこまでの自由がゆるされますか？

A : 他校に比べ、細かな生活上のきまりは定めていませんが、本校では、生徒一人一人が、高校生として適切で集団生活を営むのにふさわしい生活を送ることを求められています。「自由な校風」が実現しているのは、大多数の生徒が自覚を持って学校生活を送っているからです。また、性別にかかわらずスラックスを着用できるようにしたのは生徒会主導で行われました。本校では、生徒の自治により過ごしやすい学校生活を作り出していると言えます。

Q30 : 校則はどうなっていますか？

A : 本校では、生徒が高校生活を有意義に過ごすようにするため、生徒心得を設けています。生徒心得については、本校ホームページの「学校案内」内に掲載しています。

Q31 : スマートフォン等は持ち込めますか？ 使用制限はありますか？

A : スマートフォン等の持ち込みや使用について「生徒心得」では特に記載していません。ただし、書き込みに関して「生徒心得」に「他人の誹謗中傷になるような発言・書き込み等は絶対に行わないこと」とあります。また、定期テスト等の受験時には電源を切り鞆の中に入れてるようにしています。授業中に私的に使用することは常識的にあり得ないことです。生徒は、マナーを守って授業や他者に迷惑を掛けないようしています。

Q32 : アルバイトはできますか？

A : アルバイトについて「生徒心得」では「原則禁止とする。事情がある場合は生徒課に申し出て許可を得ること」としています。なお、例年、年末年始の郵便局及び三嶋大社からの補助人員について、学校を通して募集し、学習成績等に特に問題がなければ許可をしています。

Q33 : 蕪山高校はトイレが古いと聞いていますが、今後改修する予定はありますか？

A : トイレの改修については長年本校の重要課題でしたが、いよいよ改修工事（全面洋式化、乾式化）を行うことが決定しました。今後の予定としては今年度中に設計を行い、来年度又は再来年度に着工することになっています。来年度入学する現中学校3年生は本校1年次又は2年次に新しいトイレを使用することができます。生徒の皆さんができるだけ早く新しいトイレを使用できるよう、早期の着工を要望してまいります。